

『七人の部長』 越智優 作

【登場人物】

- ・蓮美詠子 生徒会長兼手芸部部长
- ・椎名美奈子 剣道部部长
- ・福岡ゆみ 演劇部部长
- ・窪マサミ 陸上部部长
- ・大野朋子 ソフトボール部部长
- ・岬潤子 アニメ部部长
- ・佐藤晴海 文芸部部长

#1 会議は踊る

私立ヤツシマ女子高の生徒会室。放課後。

生徒会長兼手芸部部长・蓮美詠子が、上手の黒板に文字を書いている。文芸部部长・佐藤晴海が、本を読んでいる。

ソフトボール部部长・大野朋子が入って来た。蓮美が大野にプリントを手渡す。アニメ部部长・岬潤子が入って来る。蓮美は、プリントを取るように指示。そうこうしているうちに、陸上部部长・窪マサミがやって来た。大野がプリントを取ってやる。上手の黒板にこう書かれた。

『平成13年度 私立ヤツシマ女子高 部活動予算会議 五月十日 』

書き終わった頃、剣道部部长・椎名美奈子が入って来る。蓮美がプリントを渡そうとするが届かない。大野が中継して椎名が受け取った。最後に、演劇部部长・福岡ゆみが駆け込んでくる。

会議が始まる。

蓮美が説明する。みんなプリントを見ている。

蓮美 部長さんから各顧問の先生方に提出していただいた希望につきましては、なかなか思い通りというわけにはいかないでしょうが、一応今年はこういうふうになりました

椎名 ねえ、ジュードーは？

窪 え、書いてない？

椎名 いや、来るっただけ

佐藤 加藤さんなら武道場ですよ

椎名 えっ、なんで？

佐藤 練習したいって云ってました

椎名 ウソ？ マジで？

大野 総体早いからね、柔道

椎名 裏切るか？普通

窪 それよりバスケだよ、そこまで来てたんだよ、振り向いたらいないの。素早い素早い、試合より素早い

大野 なんかハンコ押したら来なくていいとかって

椎名 何それ

大野 ハンドの子が

岬 降りそうですね

窪 うそでしょ、降るって云ってた？

佐藤 午後五〇パーセントって言っていましたよ

窪 まずいよー、また廊下ダッシュかよー

佐藤 (蓮美に) 窓ガラスなくないですか？上

岬 あらホント

蓮美 割れたままなんですよ

佐藤 (見やつて) 雨、入ってくるかも知れませんか

椎名 しっかし、集まり悪すぎない？ これ。いいんですかあ？ こんなんで

蓮美 そりゃ良くは、ないですけど

椎名 もう、来年からやめちゃったら？

蓮美 来年のことは来年の生徒会長が決めることですし

大野 窪ちゃん、シャーペン貸して

椎名 (なるほど) ああ。ハハ

蓮美 えっと、自分のところ、確認しましたか？いいですか？じゃあ、決を取りたいと思います。・・・じゃあ(黒板を振り返って)、平成十三年度、ヤツシマ女子高、部活動予算について、これで、ご異議ありませんか

福岡以外、だからだと返事。

椎名『ないでしょ』

佐藤『ハイ』

など口々に。

蓮美 (福岡を気にしつつ) えっと、じゃあ異議もないようですので・・・

福岡 あの・・・

蓮美 え？

福岡 すいません、ちょっと待って下さい

椎名 何？

福岡 (手許の紙を見ながら) これ、何ですか？

椎名 ん？

蓮美 予算案ですけど

福岡 いや、それはわかっているんですけど、演劇部のところ、これ、なんですか？

蓮美 (福岡の隣にいつて一緒に見る) なんですか、つて？

福岡 いち、じゅう、ひゃく、せん、三六〇〇円？

蓮美 ええ

福岡 これ、三六〇〇円で書いてあるんですか？

蓮美 ええ

福岡 三六〇〇円で間違いないんですか？

蓮美 ええ

福岡 ほんとうに三六〇〇円？ 印刷の間違いじゃなくて？

蓮美 そうです

窪 どうかしたの？

岬 さあ・・・

福岡 これ、三六〇〇円で、この一年間部活をやれってことですか？

蓮美 そうです

椎名 ちよつと、あんた、今までの話聞いてなかったの？

福岡 (突然) 無理です！

椎名 わっ？

福岡 無理です、無理、絶対無理！ だって一回公演するのに、どれだけのものがあると思ってるんですか？ 衣装に、メイク道具に、大道具、小道具。それ、全部三六〇〇円以内でやれってことですか？

椎名 まあ、そうなるわね

福岡 絶対無理です！

佐藤 あの、生徒会長さん
蓮美 ハイ？
佐藤 まだ、帰っちゃダメなんですか？
蓮美 えっと、すみません、もうちょっとだけ
佐藤 わかりました
蓮美 あの、演劇部さん
福岡 ゆみです
蓮美 福岡さん、演劇部は去年もそんなに多くなかったし・・・
福岡 五〇〇〇円です。
蓮美 そう、五〇〇〇円、その中でなんとかしてきたわけでしょう
福岡 だけど去年もコンクールの時にはもう全然なくなつて、みんなで出さなくちゃならなくて、後輩に、今年こそちゃんと取ってくるからって、そう言っ出て来たんです、今日は
窪 陸上だって、部費集めてるよ。どこだってやってんだよ、そんなの
福岡 でも
蓮美 福岡さん、たしかに少ない予算で大変でしょうけど、ウチみたいな私立は、公立と違って、景気の影響とかありますから・・・。今年の一年から、減つたでしょう？ ひとクラス。その分雑費が取れなくて、使えるお金が減ってるんだそうです。それに、今年から理事長が代わつたでしょう？
椎名 あの何か耳毛生えてる人？
大野 耳毛？
椎名 しんない？ 耳から生えてる毛。耳毛
大野 いや、耳毛は知ってんだけど
椎名 すっごいよ、理事長の耳毛。ぼお！つてなんか、ファイアーみたいになってるもん
大野 ファイアー？
蓮美 で、そのみ、理事長の方針だと思うんですけど、経費抑えるなら、部活動からって
佐藤 (岬に) 今、耳毛って云おうとしました？
椎名 (大野に説明してる) ここにね、なんか、タワシみたいに
大野 えー？
蓮美 (椎名に) すいません、ちょっと
椎名 あ、はいはい
蓮美 ですから・・・
椎名 こうね、耳の奥からサワワッって
大野 ウソだよ
椎名 ホントだよ！ なんでウソ？
大野 だって、耳毛なんて生えるの？ ホントに
椎名 生えるよ！ ていうか生えてたよ！ アタシ、見たもん
窪 生えるよ
佐藤 生えますね
大野 えー
窪 (生える)
大野 蓮美ちゃんはどう思う？
蓮美 とりあえずちよつと黙つて欲しいです
大野 ごめんなさい
椎名 (小声で) サワワッって
蓮美 すいません、それどうしても今話さなきゃいけませんか？ 耳毛のこと
椎名 ごめんなさい、黙ってます、ごめんなさい
蓮美 (気を取り直して) よく見て下さい。ホラ、あなたのところだけじゃなくて、他の部も前の年に比べてだいたい減ってるでしょう？ 私、手芸部の部長もやってるんですけど、ホラ、ここ、『手芸部…二〇〇〇円』って。ね。みんなカツカツでやってるんです
椎名 そうよ、大変なのはあんたのそこだけじゃないの
福岡 えっ、それでも剣道部のところは二十万円とか

蓮美 それは、剣道部はやっぱりうちの、看板だし、
椎名 一応ね
蓮美 遠征費とか、合宿の費用とか、防具とか
椎名 防具は自分で買ってるよ
蓮美 ああそうですね、細かく内訳もいただいています
椎名 そうよ、別にそれがアタシらのもんになるわけじゃないんだからね
福岡 でも・・・
窪 何もめんでんの？
椎名 なあなかね、予算が少ないのが気に入らないんだって
蓮美 (福岡に) 気持ちわかりますけど
佐藤 すいません、まだですか？
蓮美 ごめんなさい、もうちよつと
佐藤 わかりました
蓮美 (福岡に) こうやって予算案が出来ちゃってるんで、もう変えられないんですよ
佐藤 えっ、もう帰れないんですか？
蓮美 いえ、そっちは帰れます
福岡 え、変えられるんですか？
蓮美 いえ、変えられないんですよ
椎名 どっちよ
蓮美 だから！・・・そっちは(佐藤の方を見て『誰だっけ』というジェスチャー)
佐藤 文芸部部長の佐藤です
蓮美 佐藤さんは、もうちよつとしたら変えられます。でも予算は、もう帰れないんです。
あ、違う。予算は、帰れるんです、いや帰れません。私の云ってることわかりますか？
福岡 全然わかりません
椎名 頑張れ、生徒会長兼手芸部部长
蓮美 (考えながら) 予算は・・・変えられません。佐藤さんは・・・帰れます。
佐藤 (ぼちぼち)
蓮美 (帰ろうとする)
佐藤 もうちよつとしたらです
(戻る)
福岡 どうして変えられないんですか、予算？
蓮美 予算案が出来てるからです
福岡 あ、そうか・・・えっ、えっ、(黒板を見る)でも、ここに書いてありますよね、
『部活動予算会議』って。で、この紙は最初にもりましたよね？ ってことは、予算会議が始まる前に、予算が決まってたってことですか？ それってなんかヘンじゃないですか？
椎名 あのねえ
蓮美 えっと、この会議は毎年、先生たちが決めた予算を部長の皆さんに承認してもらおう、という形を取ってます
福岡・・・どういうことですか？
椎名 にぶいわね。だから、もともとアタシらに予算なんか決める権利はないってことよ。
当たり前でしょ？ アタシらただの生徒なんだから
福岡 え、じゃあ、どうして、こんな会議、開くんですか？
蓮美 それは、だから、一応、部長の皆さんも賛成ですよって形にするためです
福岡 どうしてそんなことするんですか？
蓮美 それは、来週、生徒総会があるでしょう？
福岡 はい
蓮美 そのときに、前年度の決算報告と、今年度の予算審議をするんですけど、それを問題なく済ませる為には、前もって部長の皆さんに賛成しておいてもらわないといけないんです
福岡 え、でも、最初から賛成するしかないんだったら、会議なんかしなきゃいいじゃないですか？ なんかヘンです。なんか隠してるんじゃないですか？ なんか皆してアタシの

こと騙そうとしてません？

椎名 だからさー

福岡 だっておかしいですよ。絶対ヘンだもん

蓮美 ええ、ヘンですよ、確かにヘンですけど。でも組織というのは、そういうものなんです

椎名 そうだよ、アタシたちだってね、何も好き好んでこんなところで暇潰してんじゃないのよ。総体近いんだからね。担任に釘指されてなかったら絶対来てないよ。ねえ？

大野 まあね

福岡 えっ？ そうなんですか？

椎名 そうでなきゃ誰も来ないよ、こんな会議

窪 そうよ、今はね、すっごい大事な時期なの。アタシたちはね、3年間、この総体のために練習してきたんだから

椎名 そうそう。そのためにね、毎日毎日汗水たらして運動場走り回ったり、ボール追っかけたり、竹刀振りまわしたりしてきたわけ。だから今は、一分一秒でも無駄にしたくないわけよ

窪 じゃあ、とりあえずさ、文化部だけで話し合うっていうのは？

椎名 あ、それサンセー

佐藤 ちよつとそれ引っ掛かりますね

岬 アタシも。ちよつといいですか？

蓮美 えっと・・・

岬 アニメ部長の岬です

椎名 (バカにして) おっ、アニメ部

岬 (ムツとする) 何か？

椎名 ベっつにい

岬 文化部だって活動してないわけじゃないですよ。ただ、運動部と違って校舎のなかでやってるから、目につかないだけで・・・

椎名 (小声でアニメのテーマソングを歌う)

岬 ちよつと、あんた、云いたいことあるんなら云いなさいよ

椎名 ベっつにい

大野 シイちゃんって、アニメ部になんかうらみでもあんの？

窪 生理的にオタクは大嫌いなんだって、前云ってた

岬 オタク？ アニメ部といえばオタク？ それ、偏見よ。アニメは、今や日本が世界に誇れる立派な文化なのよ、だいたい、アニメ、イコール、オタクってのはね・・・聞きなさいよ！

椎名 (全然聞いてなかった。でも適当に) あ、ごめん

岬・・・脳ミソ崩れてんじゃないの？ 面の打たれすぎで

佐藤 (岬に) 一本

椎名 なにおう！

岬 なによ！

大野 ちよつとやめなよ

椎名 だって、一本取られちゃったんだもん！

窪 そういう問題か？

蓮美 あの、個人的なケンカは後でお願いします。今は、福岡さんの不満について考えるわけですから

福岡 不満って！・・・ただ、アタシは、もうちよつと公平に予算をわけて欲しいだけです

椎名 だから、それはアタシらにはどうしようもないんだって！

福岡 でも、話し合う為に会議があるんでしょ？

佐藤 また逆戻りですね

大野 なんか書いてないの？

蓮美 えっ？

大野 だから、こういうとき、どうすればいいか、どっかに書いてないの？

椎名 どっかって？
大野 うーん・・・法律書とか
椎名 ほおりつしょ？
蓮美 あ、私持ってます
椎名 え！
蓮美 生徒会規定集です。ちよつと、調べてみます

蓮美、ちよつと離れたところで規定集を読みはじめる。

椎名 ねえねえ、生徒会長つてさ、ちよつと変わってるよね

大野 ハスミちゃん？

佐藤 なんですすか？

椎名 だって、普通生徒会規定集とか、カバンに入れてる？ しかも手芸部っていうのもよくわかんないし。だいいち生徒会長に立候補する人つて、なんか根本的にわかんないア
タシ

大野 まあねえ

椎名 生徒会長つてさ、なんかいいことあんの？

佐藤 ああ、なんか内申が良くなるらしいですよ。良く知らないけど

椎名 えっ、マジで？

佐藤 はい、推薦入試とかのときに有利らしいです。良く知らないんですけど

椎名 えー、何ソレ？ なんかズルくないソレ？

岬 それ目当てかどうかわかんないでしょ

椎名 えーっ、絶対そうだよ。だって他にやる理由ないじゃん、生徒会長なんて、時間取られるし、いろいろ仕事あんのに。ねえ？

大野 好きでやってんのかもよ

椎名 えく。だしたら余計おかしくない？ まあ、どっちにしろちよつと変人つてかん

じじゃない？ (蓮美に)ねえ？

蓮美 そうですね。そんな感じですね

椎名 あ、ごめん

蓮美 ・・・別に陰口云うなどは云いませんですけど、とりあえず、最低限、本人のいないと

こで云いませんか？

椎名 聞こえてた？

蓮美 わりとはつきり

椎名 もう、ごめん！ つい本音がポロツと・・・

蓮美 ああ、本音が

椎名 ううん、本音じゃない本音じゃない

大野 シイちゃん、謝るんならはやいほうが良いと思うよ

椎名 (ソツコーで陳謝)ごめんなさいでした

蓮美 ・・・別に、いいんですけど(また規定集を調べる)

部長たち、ちよつと気まづくくなる。

椎名 ・・・ホラ、大野さんからも(謝って)

窪 大野さん関係ないじゃん

大野 ごめんなさいでした

窪 謝っちゃうんだ

蓮美 (規定集を見たまま)別に私、内申を良くしようと思って生徒会長やってるわけじ

やありません

椎名 ・・・

蓮美 一年生のときからやろうと思ってたんです。あなたたちから見れば、何やってるか
わからないヘンな集団かもしれないですけど、生徒会がなかったら、みなさんの学校生活は
成り立ちません。いろいろ大変ですけど、私は誇りをもってやっています。

椎名 ……
蓮美 まあ、誤解されるのは慣れてますけど。それに、今度の生徒総会で私の仕事も終わりますし、今さら何云われてもいいんですけど、別にいいんですけど、でも出来れば誤解はされたくないです。…以上です。

椎名 ……ごめん
蓮美 そして

椎名 以上っていったのに

蓮美 確かに生徒会長の資格で推薦の話はあります。でも別に私はズルいとは思ってません。自分でいうのもなんですけど、一年間、忙しい生徒会長の仕事をやってきたんです、それなりの評価を受けるのは当然だと思います。私の云ってること、間違ってますか？

椎名 ……いいえ

蓮美 まあ、別にいいんですけど

椎名 ……

蓮美 あ、それから

椎名 勘弁してよもう！

蓮美 手芸は私の趣味なんです。ほっといて下さい。ちよつとあなたは人の趣味嗜好に口を出し過ぎだと思えます

岬 (ぱちぱちぱち)

蓮美 ま、別に、いいんですけどね

椎名 ……

蓮美 あ、そうだ

椎名 ねえ、どうしたら許してくれんの？ ちよつとゆって！

蓮美 ありました

椎名 えっ？

蓮美 (規定集を示して) 予算会議について、ここに書いてあります

部長たち、『おおーっ』とか云う。

#2 ヤツシマ高校 生徒会規則12条4

窪 なんて書いてあるの？

蓮美 『私立ヤツシマ女子高校 生徒会規則12条4 部活動予算会議について』

福岡 なんか、本格的ですね

蓮美 『本校の毎年度の部活動予算は、生徒総会により生徒に承認されなければならない。』

椎名 ふんふん

大野 それで？

蓮美 『生徒総会に提出する予算案は、部活動予算会議によって決定される。予算会議は各部部长の四分の三以上の出席をもって成立する。』

椎名 ……いないじゃん、四分の三。7人じゃん、アタシら

蓮美 委任状があります。12枚(テーブルの上の紙をパラパラってする。)

佐藤 『(読んで)私は今日の会議に参加できませんので、全権を会議の決定に委任いたします。』

蓮美 だから19人。四分の三以上です

椎名 コレかあ、云ってたの

大野 そう

蓮美 『予算案は、職員会議の腹案に基づき、部活動予算会議の出席者のうち過半数の承認をもって可決するものとする』

椎名 もう、何がなんだか

福岡 どういう意味ですか？

佐藤 つまり、私たちのうち半分がオーケーすれば、予算はこの予算案のまま

窪 というタテマエで、ホントはアタシたちには何にも決められないって意味
福岡 なんか・・・複雑ですね
蓮美 『ただし』

部長たち、注目。

蓮美 『出席者全員の合意があれば、予算案に関する拒否権を発動することが出来るものとする。』

椎名 うそお！

蓮美 『いや、ウソではない』

椎名 えっ、書いてんのそんなこと？

蓮美 『書いてない』

大野 普通に喋んなよハスミちゃん

蓮美 ウソじゃないです、書いてないです

佐藤 書いてないんですか？

蓮美 いえ、書いてます

椎名 どっちよ

蓮美 だから、書いてない、とは書いてないんです

福岡 頭痛くなってきた！

蓮美 つまり、ここにいる全員がイヤだといえれば、この予算案を拒否できる、ってことで

窪 ・ ・ ・ 拒否って、じゃあ、もしそうだったら今年の予算はどうなるの？

蓮美 『その場合、予算会議の結果を最大限に考慮した新しい予算案を職員会議に対して再度求めることが出来る。』

福岡 えっと・・・（どういう意味？）

佐藤 私たちの意見を入れて、もう一回予算案を作り直してもらえるってことです

福岡 えーっ！ ホントですかあ？

椎名 ちよっと落ち着きなさいよ

福岡 だって、もう一回考え直してもらってことじゃないですか！

椎名 そうだけど、それは、アタシら全員がそう云えば、ってことでしょ、会長さん

蓮美 そうです

椎名 じゃ、ダメじゃん

福岡 そんなのわかんないですよ

椎名 わかるわよ。だって、全員でしょ、少なくともアタシは、そんなのに賛成することはないから、絶対。だから予算案はこのまま。わかる？

福岡 あ、そうか・・・

蓮美 いえ、ちよっと待って下さい

椎名 何よ

蓮美 確かに、ここにいる全員の合意がなければ拒否権は発動できません

椎名 でしょ？（福岡に）ね？

蓮美 最後まで聞いて下さい。でも、それはあくまで、最終的にです

椎名 どういうことよ？

蓮美 話し合いの結果、合意が得られなかったら、ということですよ

椎名 得られないわよ、アタシ、反対だもん

福岡 そんなの話し合ってみないとわかんないですよ

蓮美 私も、そう思います

椎名 わかるって、アタシ、意見変える気ないもん

蓮美 でも、議題としてそれが提出されたんですから、あなたには、話し合う義務がある

と思います

椎名 そんなあ・・・悪いけど断る。あ、委任状出す、委任状

蓮美 委任状には顧問の先生と担任の先生のハンコが必要ですよ

椎名 うう

佐藤 規則では戦えませぬね
岬 ちよっとね
椎名 ちよっと待ってよ、忙しいんだよー
蓮美 月水金は、武道場は柔道が使うんでしょう？ 剣道は、練習、夜ですよね。7時から？
椎名・・・7時から。でもごはん食べて市民道場集合が、7時だよ。そいでその前に用事もあるし
大野 用事って何？
椎名・・・何って、いろいろだよ
大野 いろいろって？
椎名・・・まず、家帰るでしょ？ んで御飯食べて、ちよっとテレビ見て、まあ、ひとやすみして、おやつ食べて、良い感じになったところで、部活に行く
蓮美 めちゃめちゃヒマじゃないですか
福岡 途中でおやつ食べてるし
椎名 (かなり残念そうに) じゃあおやつは我慢するよ
蓮美 いや、そういう問題じゃないんですよ
大野 子供かあんたは
椎名 夜帰ったら10時半だよ。7時までに用事全部すませとかなきゃなんないんだよ
福岡 用事って
窪 宿題とかいつやってんの？
椎名 あ、思い出した！ 用事あるわ！ ビデオ屋寄んなきゃ！ レンタルビデオ！
蓮美 でもそれはあなた個人の都合でしょう？
椎名 今日、返却期限なんだよ！ 今日中に返さなきゃ延滞になっちゃうよ！ それともなに？ 生徒会で払ってくれるの？ アタシの延滞料金
蓮美・・・考えてみます
椎名 ええっ!？
佐藤 いいんですか？
蓮美 嘘も方便です
椎名 嘘かい
蓮美 それに、あなただけではなくて、皆さんの意見も聞く必要があります。私自身、手芸部の部長もやっていますが、二〇〇〇円の予算を納得しているわけじゃありません
福岡 ありがたい、会長さん！
椎名 勘弁してよー
佐藤 私のところも確かに不満です
蓮美 ソフトボール部と陸上部の意見はどうですか？
大野 アタシ？ アタシは今のままでいいと思うけど
窪 アタシも
蓮美 アニメ部は？
椎名 (イヤそうに) アニメ部？
岬 (ムツとする)・・・
蓮美 すいません、あなた、アニメ部に何か個人的な恨みでもあるんですか？
椎名 別に無いわよ、そんなの
蓮美 じゃあ、ちよっと黙って下さい。(岬に) おねがいします
岬 アタシは・・・(椎名をチラッと見て)、剣道部さんが反対することには全部賛成です
椎名 ちよっと、あんた大人気ないよ!
蓮美 ということは、この予算案には不満ということですか？
岬 そういうことにしときます
蓮美 ということは、予算案を作り直して欲しい人が四人、このままで良いという人が三人ですね。一応半数以上が不満なわけだ
椎名 でもキョヒケンは全員の合意でしょ
蓮美 そうですけど

椎名 じゃあ、無駄だよ、やっぱ
佐藤 それをこれから話し合うんですよ
椎名 無駄だと思うけどな
福岡 あ。ってことは、結局、文化部は全員不満で、運動部は全員OKってことか
蓮美 そういうことになりませぬ
佐藤 全体的に、文化部は予算が少ないですからね
椎名 でもそれはしょうがないんじゃない？
蓮美 どうしてですか？
椎名 だって、文化部ってなんかにやつてるか良くわからないんだもん。ホントにちゃんと活動してんの？
岬 してるわよ
椎名 アタシらだったらさ、県大会で何位になった、とかあるけど、文化部ってあんま勝った負けたって話、聞かないじゃん
蓮美 確かに。ただ、私の場合手芸部ですから、勝負のしようがないんですけど
大野 まあねえ
椎名 『一時間でマフラーどんだけ縫えるか大会』とか無いの？
蓮美 ありません
大野 ないだろうねえ
蓮美 ええ。ただ、ひとこと云わせてもらえるのであれば、マフラーは『縫う』のではなく、『編む』ものです。・・・マフラー、縫ってどうすんですか
椎名 ごめん、間違えた
佐藤 ウチも大会とかそういうのありませんね
椎名 そもそも文芸部って何やってんの普段？
佐藤 本を読んだり、みんなで作品を書いたりしています
椎名 作品って？
佐藤 小説とか、詩とか
椎名 へー、なるほどね。・・・まあ、聞いても聞かなくてもどっちでもいいんだけどアニメ部は？
蓮美 剣道部さん
椎名 やめときなっつて
蓮美 (岬に)ごめんさい
岬 (すごい不機嫌に) アニメの話をしたり、イラストを描いたり
椎名 へえ、そりやすごいやホントこりやマジで
岬 いえいえどういたしまして
福岡 すいません、なんかすごい恐いんですけど
蓮美 お二人とも、ほどほどに
佐藤 あれ？ でも演劇部はなんかあったんじゃないですか？ コンクールみたいなの
福岡 あ、はい。一応、毎年、出ます。でも全然ダメですけど
蓮美 どうも皆さん、お互いの活動について理解がないみたいですね。・・・どうでしょう？ 提案なんですけど、一人一人自分の部についてアピールしてみるっていうのは？
椎名 本気で言ってるの？
蓮美 アピールしてどうなるの？
蓮美 ええ、ですから、お互いのことをもつとよく知れば、予算が不公平かどうか、意見も違ってくると思うんですが
佐藤 なるほど。良い考えかも知れませぬね
椎名 ええーっ、冗談でしょ。めんどくさいよ、そんなの
蓮美 どうでしょう、皆さん
佐藤 私は賛成です
蓮美 演劇部さん
福岡 やります！
蓮美 陸上部さんは？
椎名 (信じられないといった調子で) 総体近いんだよ。雨でも降ってるならだけど

その時、ザーッと、雨の音。みんな、沈黙。

蓮美 えー、ソフトボール部さんは？

大野 ん？ アタシはどっちでも

蓮美 剣道部さんは？

椎名 アタシ反対！

蓮美 アニメ部さんは？

岬 ・ ・ ・ 剣道部さんが反対することには賛成します

椎名 そんなのアリ？

蓮美 仕方ないと思いますよ。えつと賛成多数なので、今から各部のアピールタイムを取りたいと思います。

おざなりな拍手。福岡だけ一生懸命。椎名はむくれてる。佐藤は割れた窓から雨が降らないように、カバンを移動させた。

#3 七人の部長

蓮美 えつと、じゃあ、とりあえず誰から・・・

椎名 自分で言い出したんだから、生徒会長からするのがスジってもんじゃないの？

蓮美 ええつ、いきなり私ですか？ 困ったな・・・

佐藤 落ち着いて

蓮美 わかりました。(立ち上がる) ・ ・ ・ えつと、私たち手芸部は、毎週月水金、主に家庭科室で、編み物をしています。最初はマフラーから。上達するに従って、手袋とか、帽子とか、セーターとかも編めるようになります。 ・ ・ ・ えつと、何かご質問とか、ありますでしょうか

佐藤 会長さんは今何を編んでるんですか？

蓮美 私ですか？ 私はセーターを

大野 今からセーター？ かなり気が早くない？

蓮美 冬までに二着つくろうと思ってます

福岡 どんなセーターなんですか？

蓮美 どんなつて、云われても、普通の ・ ・ ・ 。あ、今一応持って来てますけど ・ ・ ・

福岡 えつ、見せて見せて

蓮美 えっ？ 今ここですか？

福岡 はい！

蓮美 え、それはちよつと

福岡 えー、いいじゃないですかあ

蓮美 わざわざ、お見せする程のものじゃないですから

大野 いいじゃん、見せてよ

蓮美 ・ ・ ・ いや、やっぱ恥ずかしいですから

福岡 なーんだ、ちよつと残念

蓮美 ちよつとだけですよ

福岡 えーっ？

とか云いながら、既にバッグを開けてる蓮美。

椎名 ・ ・ ・ この人、ちよつと良くわかんないよね

蓮美 えつと、これなんですけど ・ ・ ・

蓮美、カバンから、照れくさそうにセーターを取り出す。かなり良い感じのセーターだ
一同、『おおー』とか云う。

佐藤 素敵！

福岡 ホント、すごいかわいい！

窪 なるほど、ちよつとしたもんねえ

蓮美 (嬉しそうに) えっ、そうですか？

椎名 ちよつと貸して(セーターを奪う)

蓮美 あっ

みんな、集まってセーターを検討する。

佐藤 すごい、プロみたい

福岡 これ、手編みですか？

蓮美 細い糸で

窪 色がいいよね

岬 ここ、どうやってるんだろ

大野 大したもんだねえ

椎名 へー、こういうんならアタシも作ってみたいかなあ

蓮美・・・そう云ってもらえると嬉しいです。・・・手芸部は確かにマイナーな部です

けど、何ヶ月もかけて一つの作品を造り上げたときの喜びは、何にも替えがたいものがあ

りますね

大野 そうだろうねえ

蓮美 つくる喜び。それが『手芸の心』です。なんて語ってみたりして(照れ照れ)

椎名 おお、なんか深げえー

蓮美 まあ、云ってみれば、その編み目のひとつひとつに、毛糸と一緒に思い出も編み込

んでる、っていうんですか？ なんて語ってみたりして(照れ照れ)

椎名 いやいや、ちよつと見直したよ。あんただの生徒会長じゃないね

蓮美 いえ、そんな

福岡 あれ？ これなんですか？

蓮美 は？

福岡 ここ、なんかちっちゃく刺繍してある

椎名 え、なに？

蓮美 あっ、それは！

福岡 なんだろうコレ・・・

蓮美 ち、ちよつと待って下さい！

椎名 何？ ちよつと見せて(刺繍に目を近付けて)。何々？・・・『グッチ』

間。

みんな え？

椎名 『グッチ』って書いてる

福岡 グッチ？

佐藤 どういうことですか？

蓮美 ごめんなさい！

椎名 あ、分かった。あんたこれ、グッチで買ったって云うつもりだったでしょ？

蓮美 い、いいえっ！

福岡 そんなことしていいんですか？

大野 どのなの？

佐藤 犯罪だと思います

蓮美 そんな！

椎名 でも書いてあるじゃない！

蓮美 それは、違います！
椎名 何が違うのよ！
蓮美 それは、なんというか、ちよつと、自分で自分をほめてやりたいというか、ちよつと夢をみたかったんです
椎名 なにわけわかんないこと云ってんのかな
蓮美 ちよつとしたファンタジーです
椎名 いや、わかんないって
大野 生徒会長も、女ってことよね
蓮美 ありていに云えばそうです
窪 ……なんでだろ？ 涙が出て来た
蓮美 同情されてしまいました
佐藤 (セーターを見ていたが) ……のが一個多い
椎名 えっ？
佐藤 これ、一個多いです、のが。グツチって、GUCCIでしょ？ これ、GUCCIになってる
蓮美 えーっ！
椎名 ちよつと見せて。 ……ホントだ、これじゃ、『グツチ』じゃなくて『グツシチ』だよ
大野 『グツシチ』？
蓮美 私としたことが…
椎名 ちよつとあんた、グツシチって何よ、グツシチって
福岡 グッドな質屋ってことですかね？
椎名 えっ？ グツシチ？ えっ？
蓮美 何度も云うのは止めて下さい
佐藤 あ、でもこれだと法律違反にはならないんじゃないですか？
大野 もうそういう問題じゃないと思うよ
椎名 何が『手芸の心』だ
蓮美 ごめんなさい、もう返して下さい
蓮美、セーターを取りかえし、バッグにしまう。
佐藤 『メッキが剥がれる』って、まさにこのことですね
福岡 ああ…
大野 まあ、手芸部の事はこれぐらいでいいんじゃない？
蓮美 とんだことになってしまいました
椎名 じゃあ、グツシチの次は？
蓮美 忘れて下さいよ
佐藤 次は運動部の方からいいんじゃないですか？
椎名 なるほど、交互にね
福岡 誰からですか？
椎名 あ、じゃあ、アタシどうせだから早いうちにすませちゃお。良い？
大野 いいんじゃない？
椎名 オッケー。(立ち上がる)……えーっと、アタシたち剣道部の自慢は、なんといつても歴史の長さです。えー、江戸時代、このヤツシマ女子高がまだ武家の女性の行儀作法の見習い所だったときから…
大野 ちよつとあんた、そんなとこに遡ってたらいつまで経っても終わんないよ
椎名 えーっ、でもやっぱ、ものには順番ってもんがさ
岬 歴史ぐらいしか、自慢することないんじゃないの？
椎名 (ムツとする)……活動の目標は、やっぱそうですね、インターハイですね
岬 へー
椎名 ……来月、県総体があります。アタシも一応選手として出ます
岬 ほう

椎名 えっと、自慢するみたいでアレなんですけど、団体戦では大将を務めさせてもらってます

岬 はー

椎名 ・・・よし、ちよつと外で話しよう

岬 (立ち上がる)

蓮美 ち、ちよつと待って下さい！

大野 シイちゃん

窪 やめときなよ

椎名 なによー！

蓮美 校内での暴力行為は、校則で禁じられています

椎名 じゃあ、学校の外で

蓮美 それは、法律で禁じられています

椎名 じゃあ、コイツの家まで行ってやる！

蓮美 それは、なんともいうかも、人の道に外れてます

大野 シイちゃん(落ち着け)

椎名 ・・・チツ(矛を収める)

蓮美 はい、みなさん席におつきください。・・・えーっと、じゃあ、そうですね、どなたか質問がある方は・・・

部長たち、互いに様子を見ているがやがて、

福岡 あ、じゃあ、アタシ、いいですか？

蓮美 はい。あ、なるべく、みなさんが和めるような質問をお願いしますね

福岡 あ、わかりました

蓮美 なんか殺伐としてきちゃったんで

福岡 はい。えーっと、あ、そうだ。あの体育館のはじつこの用具室にある竹刀とか防具

とかって、あれ剣道部さんのですか？

椎名 ああ、あれ？ そうだけど？

佐藤 用具室がどうかしたんですか？

福岡 あそこ、なんか妙な匂いしてませんか？

椎名 えっ？

福岡 いや、アタシ、体育の度に思ってたんですけど、なんか、体育館の一部分だけ、妙な匂いがあるんですよ、いっつも。それで、なんだろう、この匂い？ って思ってた、この前、休み時間に匂いのもとを探ってみたら、どうやら用具室から匂ってくるんですよ

窪 えっ、あの匂いってそれだったの？

福岡 たぶん

佐藤 確かに、私も体育館でヘンな匂いを嗅いだことはありません

蓮美 そう云われれば私も・・・

椎名 え、ちよつと待ってよ。何の話よ

大野 剣道の防具はね、汗かくから

佐藤 いえ、あれは汗臭さというもの以上の何かを含んでいると思います。なんという

か・・・

蓮美 そうですね、敢えて云えば・・・異臭？

椎名 ちよつと待ちなさいよ

佐藤 そう！ それです。異臭。何か、嗅ぐ人の心をゴッソリえぐり取るような、ものすごいマイナスパワーを含んでいます

椎名 そんな大袈裟な

大野 そういえば、集会のとき倒れる子って、たいてい用具室の側に立ってる子じゃない？

窪 そう云われれば・・・

椎名 おい！

福岡 えっ、あれ、あまりの臭さに気絶しちゃったってことですか？

佐藤 その可能性があります
椎名 無いよ！ そんな可能性！

岬 全校生徒の70%が、授業中にめまい、吐き気、頭痛などを訴えているというデータがここに

蓮美 ええっ？

椎名 いや、嘘ついてるだろ！ どう考えても！

岬 生徒会長

蓮美 生徒会としては、早急に対策を考えたいと思います

椎名 いらないよ！ 対策なんかいらない！

大野 後、ちっちゃいことなんだけど、部活終わった後、シイちゃんの側にいくと、目がツーンとするよ

椎名 いや、大野さん、それちっちゃいことじゃないよ

大野 ごめん、今まで黙ってた

椎名 いや、そんなショッキングなことサラッと云われてもさ

福岡 良かった、みんな和んでるみたい

椎名 和んでねえよ！・・・生徒会長！

蓮美 ハ、ハイ！？

椎名 なんかコレ、ちよつとしたいじめみたいになってんだけど！

蓮美 はあ

椎名 すごい、アタシに対するバッシングを感じる

蓮美 そうですね、すいませんでした。ちよつと私も調子に乗っちゃって

椎名 次、こういうことあったら、ホントに帰るからね

福岡 えっ、それは困ります！

蓮美 わかりました。気をつけます。みなさんも、宜しくお願いします

椎名 なんか涙目になってきちゃった

蓮美 ハイ。えつと、文化部、運動部ときたから次は・・・文芸部さん、お願いできます

か？

佐藤 わかりました（立ち上がる）。・・・えー。私たち文芸部の活動は、さっきもい

ましたけど、毎週月曜日、みんなで集まって読書会を開いたり、書いた作品を発表しあつ

たりすることです。あ、それからたまに、外のコンクールに応募したりもします

福岡 へえ。なんか賞とか取ったこと、あるんですか？

佐藤 ええ、まあ。読書感想文ですけど

福岡 へええ

大野 すごいよねえ。アタシ、読書感想文書いてると、いつの間にかあらすじになってる

んだけど

福岡 あ、アタシも

蓮美 何の感想文を？

佐藤 太宰治の『走れメロス』

一同、『おおー』とかいう。

窪 入選したんだ

大野 すごいねえ

椎名 太宰はね

福岡 『走れメロス』ですからね

椎名 走ってるからね、メロスが

大野 すごいねえ

福岡 ねえ。メロスが、走って

椎名 走れ、ってね、云ってね、メロスがね

大野 すごいねえ

福岡 ねえ、メロスはね・・・

みんな・・・

間

大野 (佐藤に) ごめんね、みんなアホで

佐藤 いえ

蓮美 「どっちらけ」って感じでしたね

岬 アタシ、手塚治虫ならちよつとは分かりますけど

佐藤 はあ。でも、手塚治虫と太宰治、全然関係ないですから

岬 だろーと思いました

大野 同じオサムなのにね

福岡 仲良くすれば良かったのに

蓮美 ・・・別にケンカしてたわけじゃないでしょう？

椎名 (イヤミつぼく) あー、すいません、やっぱこの会議意味ないと思うんですけど

窪 なんかアタシもそんな気がしてきた

福岡 えーっ (困ります！)

椎名 だって、どんどん主旨から外れてきてるもん、同じオサムとか云って、おかしいよ

蓮美 まあ、でもやりかけたものは、やりとおしてみましようよ

福岡 そうですよ、もしかしたら今までのでも、意見変えてくれた人がいるかもしれない

し

椎名 絶対いない

福岡 いや、もしかしたら、予算案に反対してくれる人、増えてるかもしれないし

椎名 反対の人

し

手を挙げたのは、岬、蓮美、福岡。

福岡 減ってる・・・

蓮美 文芸部さん？

佐藤 (ちよつと怒ってる) 若者の活字離れが、ここまで深刻とは思いませんでした

福岡 それは、申し訳ないんですけど・・・でも、それと部活の予算は関係無いと、思うんですけど

佐藤 部活も大変だとは思いますが、みなさんもうちよつと本に親しんで下さい。どう

でしよう生徒会長、提案なんですけど

蓮美 なんです？

佐藤 この際、全ての部活を廃止にして、生徒全員に、一日十冊本を読むことを義務付けるというの？

蓮美 それは、ちよつと無理です

佐藤 そして、違反した生徒は即停学ということにしては？

蓮美 それは、さらに、ちよつと無理です

佐藤 なんだったら退学にしちゃいますか？

蓮美 不可能極まりないです。というか、ウチの学校、生徒いなくなっちゃいます

佐藤 ダメですか？ 賛成してもらえませんか？

蓮美 ええ。というか、私、ただの生徒会長なんです。そんなすごい権限、持ってないんで

佐藤 ・・・いくじなし

椎名 ハハハ。

大野 なんか、何やっつてんだかわかんなくなってきたね

窪 うんうん

蓮美 ・・・何やっつてたんでしたっけ？

福岡 生徒会長さん！ ダメですよ！ 文芸部さんが終わったんです！ 次は運動部です、運動部。ね

蓮美 ・・・ (気押されて) ああ、そうでしたね。わかりました。じゃあ、次は、陸上部

さんか、ソフトボール部さんか

福岡 そうそう

さんか、ソフトボール部さんか

福岡 そうそう

窪 ……あー、じゃあ、アタシ先行こうかな
大野 どうぞ

窪 (立ち上がる) えっと……なんか恐いな。えっと……アタシたち陸上部は放課後毎日グラウンドで練習してます。剣道部さんと同じく、来月、県総体があります。えっと、陸上部には、長距離、短距離の走る方と、砲丸投げとかの投げの方があって、アタシは、長距離をやってます

福岡 マラソンとか？

窪 マラソンとか。いや、一万メートル、私は
椎名 マラソンといえばさ、あれってなんで42.195キロなの？ なんであんな中途半端なの？ 42キロで良くない？ 何よ、195キロって

福岡 そういえばそうですね

蓮美 確かに、中途半端ですね

佐藤 それは、古代ギリシヤのマラトンの戦いで、ギリシヤのミルティアデス將軍がペルシヤ軍を破ったとき、フィリッピデスという人が42.195キロ離れたアテネまで走って行って、その勝利を伝え、そのまま死んでしまったという伝説にちなんでるんです

大野 へえー、そうなんだ

福岡 佐藤さんてすごいですねえ

佐藤 さっきはどうかしてました

椎名 へー……アレ？ でもさあ、なんでそのフィリッピデスさんが走った距離を、アタシたちも走んなきゃなんないわけ？

佐藤 それは……何故でしょう？

椎名 (窪に) なんで？

窪 いや、アタシに聞かれても

椎名 知らないの？ 知らないのに走ってるのあんた？ なんかソレおかしくない？ 理由も無いのに走ってるの？

窪 アタシ、マラソンじゃないし

椎名 同じだよ

蓮美 そう云われればそうですね

椎名 ねえ、そうなの？ 走る理由、わかんないのに、毎日走ってるの？ 汗かいて。必死こいて。「フンガーツ！」ってブサイクな顔して

窪 見てんの、あんた！

蓮美 すいません、個人的な中傷は止めて下さい

椎名 だってさ、絶対意味わかんないよ。だってさ、そのフィリッピデスさんの時代には、電話とかなかったからわざわざ走って知らせにいかなきやいけなかったわけでしょ？ でも今は携帯とかあるし。いや、そもそも何にも知らせることがないのに何故走る？

窪 それは……なんでだろ？

椎名 もしかして、窪さんって……ちょっとバカ？

窪 あんた、ちよつといい加減にしなさいよ

蓮美 まあまあ。剣道部さんも、敵ばかりつくるのは止めて下さい

佐藤 でも、難しい問題ですね

福岡 だいたい、フィリッピデスさんは、どうして走って知らせにいったんでしょうか？
大野 どういうこと？

福岡 だって、戦争に勝ったことを伝えるにいったんでしょ？ そりゃ早く伝えるに越したことはないですけど、別に死ぬほど急ぐことはないじゃないですか？ 勝ったんだから。相手、もういないんだから。一日二日知らせるのが遅くなっちゃって、誰も困らないじゃないですか？ 別に歩いていけばよ、と云いたいアタシです

蓮美 なるほど。一理ありますね

大野 もしかして、ものすごく、せつかな人だったとか？

椎名 いや、せつかちにも限度ってもんがあるでしょ

福岡 あ、それと、いくら一生懸命走ったからって、40キロぐらいで死んじゃうのはどうかと思えます

蓮美 ああ、確かに

椎名 あ、ホントだ。そうだよ、だってマラソンやる人はみんな走るわけでしょ、42.195キロ？

窪 まあね

椎名 みんなちゃんと走ってるのにさあ、ちよつとだらしない？ フィリップピデス。死ぬなよ、フィリップピデス

蓮美 もしかして、虚弱体質だったんじゃないですか？

椎名 そんなヤツを走りにいかせたわけ？ ちよつと冷たくないギリシア人？

佐藤 確かに

椎名 謎は深まるばかりか・・・

蓮美 ・・・別にいいんじゃない？ 謎、深まっても

椎名 何か？

蓮美 いえ、やっぱりいいです

椎名 何、気になるなあ、云いなよ

蓮美 ・・・いえ、ちよつと思いついたんですけど、もしかして、罰ゲームだったんじゃないでしようか？

福岡 罰ゲーム？

蓮美 そうです。ギリシア軍が、勝ったんですよ、戦争に

佐藤 はい

蓮美 たぶん、そういうときって、皆でお祝しますよね、お酒とか飲んで

椎名 ああ、ああ

蓮美 それで、宴もたけなわで、盛り上がり過ぎて来たときに、誰かが云ったんじゃないでしようか、『おい、ちよつと誰かジャンケンで負けたやつが、アテネまで走って知らせに行こうぜ』って

福岡 ああ、なるほど

大野 それで罰ゲームか

蓮美 で、運悪く負けたのが、フィリップピデスさんだったんじゃないでしようか？

佐藤 でも、それじゃあ、死んだ理由がわかりませんよ

蓮美 ・・・急性アルコール中毒ですよ

椎名 急性アルコール中毒？

蓮美 そうです。フィリップピデスさんは、お酒が弱かったんですよ。とても。でもそのときは戦争に勝って浮かれてしまつて、ついつい飲み過ぎた

佐藤 ・・・なるほど、で走ってるうちにアルコールが体に回って、中毒になった

椎名 ・・・そうか。だとすると全部つじつまがあうわ！

佐藤 あ、でも誰か止めなかつたんでしようか？ いくらなんでもそんな危険のある人に四十キロ以上も走らせるのは、ちよつと

椎名 それが、お酒の恐いところなのよ、理性を無くさせるから。『ええ？ちよつとヤバくない？』『いいよ、いっちゃえいっちゃえ、』って

佐藤 ああ

蓮美 イケイケムードだったんですよ、きつと

福岡 イケイケムード？

佐藤 フィリップピデスさんもお気の毒に

福岡 真面目な人だったんですよ、こっそり歩いて行けば良かったのに

椎名 フィリップピデス・・・良い奴だったのに・・・

大野 惜しい人を亡くしたもんだよ

岬 恐いわー、お酒って

椎名 『酒は飲んでも飲まれるな』か。昔の人はよく言ったもんだ

蓮美 では、故人を忍びまして、皆さんでちよつと黙祷しましょう

窪を除く部長たち、黙祷。

窪 (みんなを見て)・・・なんでこんなことになったんだろう？

蓮美 ……ハイ。終わりです

椎名 じゃ、次いこうか

窪 まあ、いいけどさ

蓮美 じゃあ次は……アニメ部さん、いいですか？

岬 あ、ハイハイ……(椎名に)何ですって！

椎名 まだ何にも云ってないでしょ！

岬 (立ち上がる) えー、アタシたちアニメ部は、なにかかっていうとすぐオタク、オタクって云われますけど、アニメ・イコール・オタクって考え方は、やめて欲しいと思います
椎名 えー、だってアレでしょ？ どうせいつともオタクなことばっか考えてんでしょ？
福岡 オタクなことって？

椎名 いや、わかんないけどさ。例えば、「明日のジョー」の最後の対戦相手のホセ・メンドーサのセコンドの名前はなんだっけ？ とか

福岡 なんですかそりゃ？

岬 カバレロ

福岡 知ってるんだ

岬 (福岡に) カバレロ

椎名 それから、「ゲゲゲの鬼太郎」は右分けだったっけ、左分けだったっけ？ とか

福岡 ええっ……？

岬 左分け

福岡 はやっ！

岬 (福岡に) 左分け

椎名 後、やっぱクリカンにルパン三世の声は無理だったんじゃないか、とか

岬 もう、ひっこみ付かないんだろーね

椎名 今さらまた変わるのもおかしいもんね

岬&椎名 (うんうんうん……と納得)

みんな ……

椎名 ……まあ、こういうふうには、アタシと彼女は全然意見が合わないわけけども

みんな えーっ!?

蓮美 めちゃめちゃ話はずんでましたよ！

福岡 なんかすごい、アタシたち置いてかれてましたよ！

椎名 ええっ？

福岡 置いてけぼりもいいとこでしたよ。ねえ？

蓮美 ええ

佐藤 ……なんか、私思うんですけど、もしかしてお二人、本当は結構気があうんじゃないですか？

椎名 ちよつとやめてよ！

岬 そうよ！

佐藤 だって

福岡 かなりオタク入ってますよね

椎名 違うよ！

大野 ホントは結構好きなんじゃないの？

椎名 違う！

佐藤 いわゆる近親憎悪ってやつですね

椎名 違うって！

蓮美 ……剣道部さん、ホントのことを云った方が楽になりますよ

全員、疑いの目。

椎名 ……あたし……今度こそ本当に、帰る！

椎名 ……あたし……今度こそ本当に、帰る！

椎名 ……あたし……今度こそ本当に、帰る！

椎名 ……あたし……今度こそ本当に、帰る！

椎名 ……あたし……今度こそ本当に、帰る！

椎名 ……あたし……今度こそ本当に、帰る！

蓮美 ち、ちよつと待って下さい！

椎名 ヤダ！

蓮美 今のは、取り消しますから！

椎名 ヤダ！

蓮美 アタシの作ったセーターで良かったら差し上げますから！

椎名 いらぬ。アレ偽物だもん、いらぬ

蓮美 ・・・（ちよつとシヨック）

福岡 せつかくここまで話しあつて来たのに！

椎名 何が話し合いよ！ だいたい、意味無いんだよ、この会議。みんなわけわかんないことばつか云つてさ。耳毛とか、グツシチとか、『酒は飲んでも飲まれるな』とか、意味分かんないよ！

福岡 全部、自分で云つたんじゃないですか

椎名 とにかく、アタシは帰る。帰ります！ みなさんお疲れ様でした！

福岡 そんな・・・

蓮美 剣道部さん

大野 シイちゃん

椎名、荷物を背負つて立ち上がった瞬間、なにか四角いものが床に落ちる。岬、目ざとくみつけて素早くそれを奪い取り、ソッコで、机の反対側に回り込む。

蓮美 何なんですか？

椎名 あつ！ちよつと返してよ、バカ！

蓮美 大野さん、お願いします！

大野 シイちゃん、ごめん！

大野、椎名を取り押さえる。

椎名 大野さん？ ちよつと離してよ、もう！ こんなことしていいと思つてんの？

大野 シイちゃん、ごめん！

椎名 （蓮美に）アンタも！

蓮美 生徒会としては、調べる義務があります

椎名 ねえよ！ そんなもん！

福岡 なんなんですか？

椎名 ちよつと！

大野と椎名以外、岬の周りに集まる。

間。

蓮美 ・・・レンタルビデオですか？

福岡 さつき、返すとか云つてたやつだ

岬 （ビデオをケースから出す） ・ ・ ・ 『となりのトトロ』

蓮美 ・ ・ ・ 借りてるじゃないですか

福岡 わざわざレンタルして

蓮美 大ファンじゃないですか

椎名 ああ ・ ・ ・ （うなだれる）

椎名 大野さん、もういい、離して、逃げないから

大野 ごめん、シイちゃん ・ ・ ・ （離す）

岬、何を思ったか椎名の方に歩き出す。

全員、固唾を飲んで見守る。

岬、椎名と向かい合う。

岬・・・
椎名・・・

岬、椎名、何故かいきなり抱き合う！

福岡 えーっ！

大野 ちよつと、何よそれ！

岬、なんか慰めてる感じ。

椎名、涙を拭う。

蓮美 あ、和解した

佐藤 いい光景・・・なんででしょうか？

福岡 全然わかりませーん

岬・・・いいんです、もう全部終わりました

蓮美 そ、そうですか・・・

椎名 (涙を拭きながら) アタシ、ちよつと自分に正直になれました

佐藤 それは、良かったですね・・・

椎名 エヘッ

大野 エヘッって！

椎名 あっ、なんか皆の顔が眩しいな

蓮美・・・とりあえず、皆さん、座りましょうか・・・

福岡 そうですね

全員、座る。雨の音。

蓮美 えーっと・・・

佐藤 雨は止まないし、話し合いは進まないし

窪 (蓮美に) どうすんの？

大野 決でも取ってみたら？

蓮美 そ、そうですね、じゃあ、途中でですけど、また決を取りたいと思います。予算案に反対の人

手を挙げたのは、蓮美と福岡だけ。

福岡 どんどん減っていく・・・

蓮美 アニメ部さん？(理由を)

岬 剣道部さんが賛成することには賛成です

椎名 ヒヤッホーッ！！

福岡 さっきと全然違うじゃないですか

岬 なんか、もう分かりあえたので

佐藤 「昨日の敵は今日の友」ですね

椎名 ねえ、だから結局、演劇部だけでしょ、反対してんの。もう結果出たんじゃない？

佐藤 そうみたいです

椎名 終わり？ ねえ、終わり？

福岡 いえ、まだ生徒会長さんが！ ねえ？

蓮美 ええ、まあ

椎名 でやっとなりでしょ？ どっちにしろもうこのくらいでいいんじゃないの？

福岡 そんな！ 話し合ってくれるって云ったじゃないですか！

椎名 話しあったよ。話し合った結果どうなった？ アンタに賛成してくれる人、増えた？

福岡 そりゃ、どっちかっていうと減りましたけど・・・
椎名 どっちかって云わなくても減ってんだよ
福岡 だけど私、まだ終わってません。最後に、アタシに喋らせて下さい。それで、ダメだったら、ホントにあきらめますから
椎名 往生際わるいよ
蓮美 ソフトボール部もまだ終わってません。ソフトボール部さんからいきましよう
椎名 なんでそこまで四角四面なの？ どんな人生送ってきたの？ ちよつと聞きたいな
蓮美 (無視して) ソフトボール部さん、お願いします
大野 ハイハイ(立ち上がる)・・・えーつと、緊張するね、やっぱ。えーつと、ソフトボール部は、見ての通り、毎日毎日、ソフトボールをやっています。一生懸命やっていますけど、弱いんです。今年も地区大会で負けました。でも敗者復活戦で県大会に出られるようになって、嬉しいんです。終わり(座る)

問。

椎名・・・小学生の作文みたいな感じだね
大野 いやあ(照れてる)
蓮美 終わりですか？
大野 はい
蓮美 いいんですか、それだけで？
大野 いいよ
蓮美 本当に？
椎名 大野さんは、こういう人だから
蓮美 はあ
椎名 いいじゃん、全然短いじゃん
蓮美 じゃあ、最後、演劇部さん、お願いします
福岡 ハイ
窪 長かったねえー
椎名 お手並み拝見といきますか

#4 蓮美詠子の視点

福岡 えー、私たち演劇部は、毎年、夏の地区大会に向けてがんばってます。あとは、新入生歓迎公演と、文化祭とです。主なのは、以上です。あ、あと、去年もひまわり老人会に行っただけでした
佐藤 何やったんですか？
福岡 『あなたの心に』っていう、あ、言ってもわかんないと思うんですけど
佐藤 どんなお芝居なんですか？ 悲劇？ 恋愛もの？
福岡 コメデイです
佐藤 コメデイ
福岡 はい。一時間もののコメデイです。ただ、笑いは一回も起きませんでしたけど
蓮美・・・それ、全然ダメじゃないですか
福岡 ダメなんですよね
椎名 一時間のあいだ、一回もうけなかったんだ
福岡 ハイ。もうクスリとも
椎名 つらいね
福岡 はあ。でも、あれですね。あそこまで受けないと、逆にやってるこっちが笑っちゃいますね
椎名 そうなんだ

福岡 ハイ。一つ発見

蓮美 老人会の人の御苦労が忍ばれますね

福岡 ええ。帰り際に、「頑張って下さい」と、逆に励まされたアタシたちです

佐藤 優しい方々でよかったですね

佐藤 キヤステイングとかは誰が決めてるんですか？やっぱり顧問の先生？

福岡 いえ、キャストは相互推薦で決めています。顧問あんま来てくれないんで

椎名 部長命令で決めちゃえばいいじゃん『(窪に) お前がロミオだー!』

窪 いや

椎名 『(大野に) お前がジュリエットだー!』って

大野 いやあく(照れてる)

福岡 いや、そうもいかないっていうか、あんまみんな私のいうこと聞いてくれないっていうか

椎名 ・・・ごめん、わかる気がする

福岡 あつで、残った人は大道具とか音響とかスタッフの仕事をしています。大きいとこだとスタッフから決めてったりするそうですけどね。うち部員少ないし

大野 今は何人いるの

福岡 アタシ入れて八人。あ、でも今年は、新入部員が十三人も入りました!

佐藤 すごいじゃないですか

大野 よかったね

福岡 ハイ。ただ三人しか、顔見たこと無いんですけどね

椎名 ・・・どういうこと?

福岡 いや、なんか今年の1年、ボランティア養成講座にクラスから何人かずつ出さなくちやなんないらしくて

大野 (蓮美に) そうなんだ

蓮美 最低二人ですね

福岡 ハイ、それで部活入ってる人はやんなくていいとか言われて、とりあえず籍だけいれとけ、みたいな感じで十人。うち、顧問もうるさくないし

椎名 それ、新入部員っていうか?

福岡 いや、でも見たことにはないですけど、いることは確かなんです。この学校のどこかに潜んでるはずなんです

佐藤 「エイリアン」みたいな部員ですね

福岡 まあ、運が良ければ、発見できると思います

椎名 ・・・頑張ってるね

福岡 ハイ

みんな ・・・

間。

福岡 えーっと・・・すいません、やっぱ無理でした

椎名 諦めたんだ

福岡 これ、多分、ダメですね、予算アップ、できないですね

椎名 今、気付いたんだ

福岡 ハイ。これ、無理です。わかりました。なんか、自分で話してて、おかしかったですもん

大野 良いとこ無かったもんね、さっきの話

福岡 部員、エイリアンじゃ、ダメだ

蓮美 言い残したことはありませんか?

椎名 ありません

蓮美 演劇部さんに聞いてるんですけど

椎名 はいはい

蓮美 演劇部さん

福岡 はい・・・そうですね、大変なのはアタシのとこだけじゃないですしね、っていう

か「アタシんとこ、ホントに

大変なのか？っていうか。・・・そうですよ

椎名 そうだよ

蓮美 剣道部さん

福岡 それにもし、全員一致で拒否権が発動できたとしても、それで絶対アタシたちの予算が上がるってわけじゃない

いんですよ

蓮美 それはそうかもしれませんがね

福岡 それでもしうち増えても、後でズルイとか言われますよ

蓮美 云われるかもしれませんがね

大野 まあねえ

佐藤 いろいろ、難しいですよ

岬 だいたい、本当にやり直してくれるんですかね

椎名 やり直した、とか云って、もっかい同じ数字だったりしてね

窪 ありそうな話だよ

福岡 だから、ハイ。ありがとうございます

蓮美 (事務的に) じゃあ、いいんですね？

福岡 すみません、最後まで応援してくれたのに

蓮美 いえ。ではみなさん。ここまでみなさんの貴重なお時間をいただきまして小1時間、各部のアピールタイムを続けてまいりましたが、ここに、すべての部活のアピールが無事終了したことを宣言いたします

椎名 なんかね

窪 宣言しなくてもね

大野 ちょっと嬉しそうだね

蓮美 (無視して) では、決を取りたいと思います

窪 取るんだ・・・

蓮美 平成十三年度、ヤツシマ女子高、部活動予算について、この予算案にご異議ある方は挙手をどうぞ

みんながおおざなりにそれぞれを見渡す中、手を挙げた者が一人。

みんな え？

佐藤 生徒会長？

大野 ハスミちゃん？

蓮美 蓮美詠子だ。

蓮美 私は反対です

椎名 ハア？

窪 何言ってるの？

福岡 生徒会長さん？

蓮美 (福岡に) やってみないとわからないじゃないですか

福岡 だって

蓮美 どうしてやる前から無理だって決めてかかるんですか？ 出しましょう、先生に。

がんばってるじゃないですか。3600円じゃ、足りないんじゃないですか

福岡 ええ・・・(困惑)？

蓮美 不都合があったら変えるべきです。そのために会議があるんですから

椎名 ちょっと待ってよ、生徒会長？

蓮美 なんてしよう？

椎名 「なんでしよう？」じゃないよ。あんた自分で何云ってるかわかってんの？

蓮美 そのつもりですが

椎名 云い出した本人が、もういいって云ってんだよ

蓮美 ええ、それはわかってます。ですから、今度は私が反対します。話し合い、続けましょう

椎名 ナニそれ。じゃソレ、また振り出しってこと？

窪 なんかそれ、おかしくない？

大野 おかしいような、おかしくないような・・・

佐藤 生徒会長、ちよつとかまいませんか

蓮美 なんでしょう？

佐藤 確かに、拒否権を発動するには、全員の意見が一致しなければダメです

蓮美 ですから、私は反対してますが

佐藤 ええ、でも、予算案を可決するのは、過半数の賛成で良かったんじゃないですか？

椎名 あ、そうだ。そうだよ！

佐藤 話し合った結果、6人が予算案に賛成してるんですから、過半数に達しているはず

大野 ホントだ！

椎名 そうだよ！

佐藤 生徒会長

窪 終わりにしようよー

蓮美 ・ ・ ・

蓮美、何を思ったか、カバンから『生徒会規定集』を取りだす。

蓮美 『私立ヤツシマ女子高校 生徒会規則12条5』

みんな？

蓮美 『こんなとき、生徒会長は一人で七票入れることが出来る』

椎名 ウソつけ！

蓮美 本当です！

椎名 『こんなとき』って何だ？ 『こんなとき』って！

大野 ハスミちゃん、いくらなんでもそりや・・・

蓮美 だって書いてあるんです

椎名 じゃあ、ちよつと見せてみなさいよ

蓮美 ・ ・ ・それは、出来ません

椎名 なんでよ！

蓮美 生徒会の最高機密なので、ちよつとお見せ出来ません

椎名 そんなわけあるか！ だってアタシらももらったもん、それ。入学式の時き！

蓮美 じゃあ、自分のを見て下さい

椎名 だから、持って来てないんだって

蓮美 持ってきてない人が悪い

窪 そんな、子供じゃないんだから・・・

大野 ハスミちゃん

佐藤 生徒会長？

短い間。

蓮美 やっぱだめか・・・

椎名 決まってるんだろ

蓮美 そうです。本当はそんな規則、ありません。私、みなさんを騙していました

椎名 大丈夫。誰一人騙されてないから

福岡 どうしたんですか？ 会長さん

蓮美 ・ ・ ・みなさん、生徒会が一年間に何回の会議を開くか、御存じですか？ 臨時の

会議を除いて

椎名 どういうこと？

蓮美 五十六回です。毎月定例の生徒委員会の他に、特別な行事とか、学期ごとの報告会

とか、その他諸々の小さな会議も含めて、年間五十六回の会議が予定されていて、開かれるんです。この会議もその一つです

椎名 それが？

蓮美 その中で、どれだけのことが決まるかわかりますか？

椎名 . . .

蓮美 ひとつもないんですよ

みんな . . .

蓮美 それだけの会議で、決まることなんか一つもないんです。私、全部の会議に参加してまずけど、そこで何かが決まったことなんか、一度もないんです。福岡さん？

福岡 あ、はい？

蓮美 あなたが最初に云った通りです。予算会議が始まる前に、予算なんて全部決まってるんです

福岡 . . .

蓮美 だから、こんなことは初めてだったんですよ、私。一年間、ずっと、誰かが決めたことを、誰かに伝えるだけだったから。ここで、初めて何かが決まるかも知れないと思っただんです。もし、ここで、全員の意見が一致して、拒否権が発動されたらどうなるんだろう、って。すごいどきどきしてました。そりゃ、結局何も変わらないかも知れません。 . . . いえ、きつと変わらないでしょう。でも、それでも良かったんです。だって、そうじゃないですか？ そうでない私 . . .

みんな . . .

蓮美 あんまり、バカみたいじゃないですか

#5 さらば生徒会

間。雨の音。

大野 えーっと . . .

みんな . . .

大野 バカみたいって思っていないよ

蓮美 いえ、どうも、私ですいませんでした。では改めて、決を取ります。お手元の予算案をごらんください。『平成13年度 ヤツシマ女子高 部活動予算』についてこれでご異議ありませんか

. . . 異議がないようですので、それではこれで（振り返り）『平成13年度 ヤツシマ女子高 部活動予算会議』を終わりたいと思います。みなさん、お疲れさまでした

間。ややあつて、

窪 さあ、廊下ダッシュしてくるかな

大野 廊下混んでるよ

窪 まさか . . . ソフト、第二教棟使う気？

大野 雨降ったら行けって言うてる

窪 ハイフツのくせに！

大野 県で勝つもん

大野、去る。

窪（外に）端っこでやってよ、筋トレは！ すぐ廊下いっぱいになるんだから！（返事が無い） . . .（椎名に）事務室前がーって並んで、通れないんだよ、いっつも。でかいから。ソフトの連中。平均的に。

佐藤 雨ふってんのに走るんですか？

窪 アタシら陸上部だからね。・・・アタシもね毎日こんなに走って意味あんのかなとか
思うんだけどさ・・・でもさ、走ってる最中はそんなこと考えないんだよ。不思議とね

椎名 県大、頑張ってるね

窪 お互いね

蓮美 お疲れさまでした

佐藤 さようなら

窪 さよなら

窪、去る。

蓮美 (福岡がすわったままなのを見て) 演劇部さん？

福岡 あ、そうですね(立ち上がる)

佐藤 じゃあ、私も失礼します

岬 私も

蓮美 (佐藤・岬に) お疲れさまでした

佐藤 生徒会長

蓮美 はい？

佐藤 私、去年の生徒会長選挙の時、あなたに投票しました

蓮美 えっ・・・

佐藤 それで、間違ってたかっと思えます

蓮美 ・・・・ありがとうございます

佐藤 さようなら

蓮美 さようなら

福岡 じゃ、失礼します。あの、ホントお騒がせしちゃって

椎名 ああ、さよなら

蓮美 どうもお疲れさまでした

福岡 お疲れさまでした！

福岡、ペコッとおじぎして走り去る。岬、帰ろうとして立ち止まる。

岬 「あ、ちょっと」

佐藤、去る。岬、引きかえし、椎名の前で、手を差し出す。

椎名 何？

岬 ビデオ

椎名 え？

岬 今日までなんでしょ、返却期限。返しといてあげるよ

椎名 え、でも・・・

岬 あそこでしょ、金井文具の隣のビデオ屋。アタシ、あそこ常連だから

椎名 そうなんだ

岬 結構、充実してるんだよね、アニメビデオが

椎名 でも、「フランダーズの犬」、第七話だけ、抜けてんだよね

岬 あれ、意味わかんないよね

椎名 だからアタシ、八話以降は見えてないんだ。なんかイヤじゃない？ 一話だけ飛ばし

て続き見るの

岬 今度、ダビングしたげるよ

椎名 ありがとう

蓮美 帰るんじゃないかなかったですか？

椎名 ・・・・そうなんだ。じゃあ、お願いしようかな

椎名、ビデオを渡す。

岬、立ち去ろうとする。

蓮美 お疲れさまでした

岬、立ち止まってビデオケースに挟まっている貸し出しレシートを見つめているが、おむろに引き返し、再度椎名に手を差し出す。

椎名 え？

岬 ……

椎名、その意味を悟り、手を差し出す。

アニメが結んだ美しい友情の始まり、と思いきや、

岬 三百円

椎名 えっ？

岬 延滞料金。

椎名 ええっ？

蓮美 今日が返却期限だったんじゃないんですか？

岬 昨日になってる、ここ（レシート）

椎名 ウソ！（駆け寄る）・・・ホントだ

蓮美 あなたもいい加減そっかしいですよ

岬 『返却期限を過ぎた場合、一日につき三百円の延滞料金をお支払いいただきます』

椎名 ……

岬 三百円

椎名、財布を取り出し、探る。

椎名 （小銭を手渡し）五円玉入っちゃったけど

岬 （数えて）・・・確かに。じゃあ

岬、去る。

蓮美 じゃあ、私たちも、そろそろ帰りますか

椎名 とんだ予算会議だったね

蓮美 （椎名が片付けてるのは）教科書ですか

椎名 今日中に持って帰って言われてさ。持って帰って勉強しろって。するわけないのに

蓮美 どこ隠してたんですか

椎名 トイレ。（ハスミから紙袋を渡されて）サンキュー

蓮美 置き傘もありますよ

椎名 あ、でも（雨が上がってる？）

そこへ、福岡が駆け込んで来る。

福岡 よかったー、まだいたーっ

蓮美 どうしたんですか？

福岡 プリント・・・これもらいに来たのに

椎名 生徒総会でもらえるじゃん

福岡 やっぱ後輩に説明しとかないと・・・あー、しまってるかと思った。よかったです（バッグの中にプリントを仕舞う）

椎名 4組でやってんの？

福岡 え？

椎名 練習

福岡 あ、今道具作ってるんで、倉庫で

椎名 あの、体育館のウラの？

福岡 はい、倉庫借りて

椎名 ・ ・ ・ ねえ

福岡 はい？

椎名 あそこに時々置いてる服とかハリボテとか、アレ演劇部の？

福岡 あ、はい。 ・ ・ ・ あ、すいません、なんか置きっぱなしになってました？ちゃんと片付けてると思っただけ

椎名 いや、そうじゃなくてさ ・ ・ ・

福岡 アレ、作ったの私です。結構、上手いでしょ

蓮美 そうなんですか？

福岡 ハイ。一応、裏方の仕事は私が、まとめてるんで。一応、三年生ですし

椎名 当たり前だけど、ああいうのも、やっぱ作った人がいるんだよねえ

福岡 はい？

椎名 いや、なんかアタシには全然縁がない世界だからさ、ああいうの、誰かがこれを一生懸命作ってるとか、考えもしなかったよ

福岡 ・ ・ ・

椎名 だから、倉庫にモノ取りにいくとき、邪魔じゃないアレ？ だから、何の気なしに蹴ッ飛ばしたり、竹刀でついたり、マジックで『アホ』って書いてたりしてた

福岡 あ、あれ、剣道部さんだったんですか！

椎名 (軽く)ごめんね

福岡 ごめんね、じゃないですよ！ やめて下さい！ すごい困るんです、ああいうことされると！

椎名 マジでごめんね

福岡 しかも、あれ、油性マジックだったじゃないですか！

蓮美 そうなんですか？

福岡 はい、もう消えなくて消えなくて

椎名 すいませんでした

福岡 泣きましたよ！ 部員全員で

蓮美 ホントにロクなことしてませんね

椎名 だから、ホント悪かったって思ってるよ。ごめん。すいませんでした(ちゃんと謝る)

福岡 ・ ・ ・ まあ、反省してくれば、いいですけど。

間。

蓮美 じゃ、帰りますか？

福岡 ・ ・ ・

椎名 どうしたの？ ・ ・ ・ ひよっとして、おこってる？

蓮美 演劇部さん？

福岡 え、やっぱ、ホント、何やってんのかなって思ってる

椎名 誰が？

福岡 ゴミですよね、あんなの。客観的に見れば

蓮美 ・ ・ ・ 剣道部さん

椎名 ごめん！ごめんなさいって、もう！

福岡 いえ、いいんです。ホントに。アタシね、舞台に立ったこと、ないんですよ

椎名 は？

福岡 いっぺんもないんです、舞台に立ったこと。演劇部なのに

二人 ・ ・ ・

福岡 ずっと裏方。あんな、ハリボテ作ったり、衣装縫ったり。あ、あれはあれで、いろ

いろいろあるんですよ、すごいタイヘンだったり、けんかもするけど、出来上がったときなんかすごい嬉しくて。そういう裏方していると、そっちの方が自分には向いてるってことも、わかってたんです。

でも私、本当はキャストになりました。ずっと。でも、言えなくて。なんでかな。言ったらよかったんだけど。いつか、誰か推薦してくれないか、ちっちゃい役でいいから、一回だけ、一回だけでいいから舞台上に立ちたい、そう思ってた、三年間演劇やってました
蓮美・・・

福岡 でも、ダメでした。今年のコンクールが最後のチャンスだったんですけど、三年生でまだ部活やってるのも、アタシだけなんですけど、やっぱりダメでした。・・・まあ、しかたないんですけど

椎名・・・

福岡 誰もアタシがキャストやりたいなんて、知らなかったし

椎名・・・

福岡 アタシたちのやってることなんて、誰も興味ないですしね

その一瞬、夕日が差す。報われることのなかった部長たちの三年間を包むように。

蓮美が顔を上げる。静かに光の方角を見る。やがて、椎名も。そして、福岡も。

蓮美 傘、いりませんね

椎名 ハハ、でもグラウンドはだめだろうけどね

福岡 水はけ悪いですからね（立ち上がる）

蓮美 まあ、廊下ダッシュですね

福岡も帰り支度を始める。

椎名・・・ねえ、今度のコンクールって、いつ？

福岡 地区大会ですか？ 夏です。夏の終わり

椎名 アタシ、見に行くよ

福岡 えっ！ ホントですか？

椎名 うん、大道具壊しちゃったお詫び、っていうとなんだけど。市民会館？

福岡 ハイ、ヤツシマ市民会館

椎名 どうせその頃にはアタシも引退しちゃってるから。暇だし。あ、でもあなたは出ないのか

福岡 はい。あ、でも、アタシ衣装縫ってます！ 大道具もつくってます！ スモークも炊いてます！

椎名 いろいろやってんだ

福岡 ハイ！・・・そうなんだ、見に来てくれるんだ、嬉しいな！

椎名 うん、行くよ、だからさ・・・

福岡？

椎名 そんな悲しいこと、云わないでよ

音楽。

蓮美 かぎ、締めますよ

椎名 あ、待って

福岡 竹刀、持って帰るんですか？

椎名 素振りすつから。これ（竹刀）でないとダメなんだ

福岡 自転車ですよね？

椎名 こうやって（竹刀持って自転車に乗るポーズ）

蓮美 さよなら

福岡と椎名が帰って行く。もう声だけだ。

椎名 さいなら

福岡 さようなら

福岡 (遠くから) 窓割れてるのに、かぎ締めるんですかー？

蓮美 (遠くに) 一応ね！

音楽が大きくなる。

蓮美、バッグからセーターを出してたたみ直す。それから、黒板を消していないことに気づく。

黒板にはこう書かれている。

『平成13年度 私立ヤツシマ女子高 部活動予算会議 五月十日』

黒板消しを持って、勢い良くそれを消していく蓮美。

チョークの粉が舞って、蓮美の目に入る。

目をこする蓮美。

間。

蓮美、黒板消しを元に戻し、生徒会室を見回す。

割れた窓。差し込む夕日。誰もいない、生徒会室。しばらくながめて、やがて去っていく。

誰かの忘れていった予算計画書が、風にすくわれ、床に落ちる。

幕。